

平成29年度

精華高等学校

第9回 学校評価結果報告書

- ① 教職員自己評価
- ② 保護者自己評価
- ③ 学校協議会報告
- ④ 総合評価（校長評価）

平成30年3月26日

学校評価委員会

① 教職員自己評価

今年度の重点テーマ

- 【学 校 運 営】 地域社会から信頼される学校運営
- 【教 育 内 容】 生徒の学力の確実なレベルアップ
- 【生 徒 指 導 ・ 支 援】 懇切ていねいな指導
- 【教員研修 ・ 資質向上】 教職員の資質向上による教育の充実

目標および評価指針 (Plan)

- 1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導の充実と共に、生徒の基本的な生活習慣の確立、マナーの向上をめざす。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な進路希望を実現する。
- 4 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 5 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。

中期的目標として (Do)

- 1 日々の授業を充実させ、各コースの教育内容の更なる充実をめざす。
- 2 特進共通コースにおいては、生徒の基本的な生活習慣の確立、マナーの向上をめざす。また、学び直しシステムを確立し、転・退学生の減少をめざす。
- 3 特進選抜コースでは、大学進学実績の更なる充実を図る。また、特進選抜コース入学者の増加と共に、特進共通コースからの転コースを加え2クラス展開できるようにしたい。
- 4 IT 総合コースでは、コースの専門性を更に強化し、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。
- 5 環境福祉コースにおいては、現在評価されている保育所や幼稚園・こども園、また、高齢者施設での交流を引き続き充実させる。また、環境問題や社会福祉に対する高い意識を持った生徒を育成し、社会に貢献する力を育む。
- 6 スポーツ健康コースでは、スポーツを通じて文武両道に優れた人材を育成する。また、さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、自らの健康の保持、増進に努める。
- 7 特進総合コースは、大学進学に力を入れると共に、コース独自の特徴を持たせるために検討を開始する。
- 8 グローバル化の進展に伴い、本校の弱点である国際理解教育に取り組む。
- 9 本校強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に部活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 10 学校施設・設備の充実、また老朽化した校舎・トイレの改装に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。それに伴い、生徒の美化意識を高める。
- 11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。
- 12 精華高校教育改革プロジェクトを立ち上げる。

達成状況 (Check)

■ 学校運営

私学の独自性

* 建学の精神 (教育目標) について

〔設問〕 建学の精神 (教育目標) が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 39%

推移) ① 65% ② 66% ③ 63% ④ 72% ⑤ 40% ⑥ 35% ⑦ 45% ⑧ 44%

* 愛校心について

〔設問〕 教職員、在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 34%

推移) ① 66% ② 68% ③ 63% ④ 65% ⑤ 43% ⑥ 35% ⑦ 43% ⑧ 32%

教育課程

* 学習指導要領の対応状況

〔設問〕 教育課程は学習指導要領に沿っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 89%

推移) ① 88% ② 89% ③ 96% ④ 84% ⑤ 78% ⑥ 93% ⑦ 90% ⑧ 87%

〔設問〕 年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 84%

推移) ① 92% ② 92% ③ 96% ④ 93% ⑤ 91% ⑥ 91% ⑦ 93% ⑧ 89%

教職員連携

* 教員・教科間連携状況

〔設問〕 教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 39%

推移) ① 71% ② 72% ③ 65% ④ 77% ⑤ 52% ⑥ 33% ⑦ 48% ⑧ 47%

* 教員と事務職員の連携状況

〔設問〕 教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42%

推移) ① 63% ② 49% ③ 70% ④ 58% ⑤ 59% ⑥ 42% ⑦ 50% ⑧ 42%

* 会議の有効性

〔設問〕 教職員会議をはじめ各種会議が、有効かつ効率的に機能している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 26%

推移) ① 71% ② 70% ③ 55% ④ 58% ⑤ 39% ⑥ 33% ⑦ 23% ⑧ 29%

財務関係

* 財務に関する意識

〔設問〕 学校の経営指標と財務状況について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 16%

推移) ① 46% ② 36% ③ 30% ④ 49% ⑤ 46% ⑥ 26% ⑦ 18% ⑧ 13%

* 評議員・理事会機能について

〔設問〕 評議員会、理事会の役割や機能について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 11%

推移) ① 31% ② 23% ③ 18% ④ 14% ⑤ 22% ⑥ 7% ⑦ 25% ⑧ 18%

情報公開

* ホームページの活用状況

〔設問〕 学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 55%

推移) ① 56% ② 51% ③ 69% ④ 88% ⑤ 78% ⑥ 84% ⑦ 75% ⑧ 69%

* 授業公開状況

〔設問〕 保護者などへ授業を公開している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 53%

推移) ① 73% ② 74% ③ 80% ④ 84% ⑤ 78% ⑥ 70% ⑦ 80% ⑧ 80%

危機管理

* 役割分担について

〔設問〕 事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 68%

推移) ① 77% ② 70% ③ 73% ④ 84% ⑤ 83% ⑥ 72% ⑦ 80% ⑧ 80%

* 危機管理対応状況

〔設問〕 危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 53%

推移) ① 83% ② 79% ③ 60% ④ 84% ⑤ 63% ⑥ 61% ⑦ 61% ⑧ 62%

開かれた学校づくり

* 地域交流について

〔設問〕 地域や地域住民との交流ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 61%

推移) ① 73% ② 77% ③ 79% ④ 56% ⑤ 57% ⑥ 44% ⑦ 52% ⑧ 49%

今後の改善方策(Action)

建学の精神(教育目標)が、学校関係者に浸透していない。また、生徒の愛校心も低い状況にあると、教職員は認識している。保護者評価においても「精華高校の社会における評判はよい」の項目の肯定的数値は低い。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。

学習指導要領の対応状況は高評価。保護者はホームページのシラバスをよく見ている。シラバス作成は引き続き行うと共に、内容を充実させる。

教員・教科間連携が非常に低い評価である。本校の大きな課題と認識する。信頼感の醸成のために、教科会議の有効な活用を促す。また、効率的で有効な会議の運営を、各リーダーが率先して工夫していく必要がある。

財務関係および評議員・理事会機能については、理事会で方策を考える必要がある。

ホームページの更なる充実を図り、開かれた学校作りを推し進める。一斉メールの構築などにより、学校の危機管理体制を更に強化する。

■ 教育内容

情報教育

*情報能力育成

〔設問〕生徒の情報活用能力の育成を図っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 32%

推移) ① 65% ② 68% ③ 72% ④ 72% ⑤ 44% ⑥ 40% ⑦ 39% ⑧ 42%

*情報モラル指導

〔設問〕情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 58%

推移) ① 67% ② 60% ③ 58% ④ 67% ⑤ 37% ⑥ 44% ⑦ 39% ⑧ 36%

人権教育

*研究体制

〔設問〕人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を、教員が研究する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 37%

推移) ① 50% ② 40% ③ 49% ④ 54% ⑤ 41% ⑥ 37% ⑦ 30% ⑧ 22%

*教育体制

〔設問〕人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 32%

推移) ① 54% ② 46% ③ 43% ④ 58% ⑤ 41% ⑥ 44% ⑦ 45% ⑧ 27%

環境教育

* 環境問題意識向上

〔設問〕 ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 18%

推移) ① 52% ② 64% ③ 47% ④ 56% ⑤ 33% ⑥ 37% ⑦ 23% ⑧ 25%

* 実践的態度の育成

〔設問〕 生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42%

推移) ① 58% ② 71% ③ 57% ④ 56% ⑤ 54% ⑥ 44% ⑦ 32% ⑧ 51%

健康・食育

* 健康・食に関する指導について

〔設問〕 健康教育、食育などにも配慮している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 18%

推移) ① 42% ② 34% ③ 23% ④ 33% ⑤ 33% ⑥ 9% ⑦ 16% ⑧ 9%

生徒会活動

* 生徒会活動支援状況

〔設問〕 生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるように学校全体で支援している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 29%

推移) ① 60% ② 53% ③ 60% ④ 67% ⑤ 35% ⑥ 19% ⑦ 22% ⑧ 36%

その他

* 読書推進

〔設問〕 図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 21%

推移) ① 31% ② 36% ③ 49% ④ 46% ⑤ 52% ⑥ 21% ⑦ 34% ⑧ 29%

* 部活動

〔設問〕 部活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 53%

推移) ① 77% ② 87% ③ 54% ④ 61% ⑤ 65% ⑥ 44% ⑦ 52% ⑧ 51%

* ボランティア

〔設問〕 ボランティア活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 24%

推移) ① 56% ② 45% ③ 55% ④ 49% ⑤ 41% ⑥ 30% ⑦ 36% ⑧ 27%

* 学校行事

〔設問〕 体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 63%

推移) ① 79% ② 72% ③ 67% ④ 74% ⑤ 74% ⑥ 54% ⑦ 71% ⑧ 65%

* スポーツ・芸術文化

〔設問〕 スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 61%

推移) ① 79% ② 75% ③ 62% ④ 72% ⑤ 61% ⑥ 65% ⑦ 75% ⑧ 53%

* 国際理解

〔設問〕 他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 24%

推移) ① 40% ② 34% ③ 11% ④ 14% ⑤ 9% ⑥ 14% ⑦ 36% ⑧ 18%

今後の改善方策(Action)

情報教育については、今夏の ICT 教室の設置を見据えて、更に充実させて行く。また、携帯電話の校内持ち込み可を前向きに検討し、許可する場合にはマナー教育・情報モラル教育を徹底する。人権教育の研究体制や教育体制については、効果的な方法を模索していく。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、生徒トイレのリニューアルに伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まったが、更に実践的態度の育成に努めたい。食堂は抜本的な改革が必要な時期に来ている。魅力的な学校をめざすには、食育の部分は大きい。

生徒会活動の活性化については、引き続き組織の見直しを模索する。生徒の自主的な活動としての、学園祭の充実を目指したい。

読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるよう促す。部活動の活性化は本校の重要な柱として位置づけている。学校として支援する体制を更に強化したい。

■ 生徒指導・支援

生徒指導

* 指導方針の一貫性

〔設問〕 生徒指導は学校の方針に従っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 68%

推移) ① 96% ② 96% ③ 90% ④ 93% ⑤ 78% ⑥ 81% ⑦ 78% ⑧ 76%

* 生活指導について

〔設問〕 生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 74%

推移) ① 94% ② 90% ③ 90% ④ 88% ⑤ 70% ⑥ 72% ⑦ 82% ⑧ 71%

*家庭との連携状況

〔設問〕生徒指導において、家庭との連携ができています。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 89%

推移) ① 90% ② 89% ③ 94% ④ 93% ⑤ 91% ⑥ 84% ⑦ 82% ⑧ 87%

生徒支援

*学習指導について

〔設問〕学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 63%

推移) ① 83% ② 79% ③ 73% ④ 79% ⑤ 65% ⑥ 54% ⑦ 61% ⑧ 73%

*カウンセリング体制

〔設問〕カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。カウンセラーの活用ができています。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 71%

推移) ① 75% ② 68% ③ 65% ④ 86% ⑤ 63% ⑥ 58% ⑦ 64% ⑧ 65%

*進路指導について

〔設問〕生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 58%

推移) ① 81% ② 77% ③ 83% ④ 72% ⑤ 61% ⑥ 75% ⑦ 77% ⑧ 60%

今後の改善方策(Action)

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。更に期待に応えられる体制を整えて行く。進路指導についても、生徒の多様な進路に答えられるきめ細かい指導を堅持したい。ただ、情報発信において保護者評価が低いことから、今後の新テストの実施を見据え、充実した情報の発信をお願いしたい。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。ただ、保護者の評価は高くない。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

■ 教員研修・資質向上

教員研修

*教員の資質向上について

〔設問〕教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 45%

推移) ① 23% ② 28% ③ 47% ④ 58% ⑤ 61% ⑥ 42% ⑦ 50% ⑧ 42%

* 校内研修

〔設問〕 効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42%

推移) ① 48% ② 41% ③ 54% ④ 75% ⑤ 63% ⑥ 51% ⑦ 64% ⑧ 38%

* 初任者のサポート状況

〔設問〕 初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 37%

推移) ① 33% ② 29% ③ 49% ④ 58% ⑤ 44% ⑥ 42% ⑦ 43% ⑧ 45%

* 校外研修

〔設問〕 教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 39%

推移) ① 43% ② 39% ③ 44% ④ 51% ⑤ 33% ⑥ 35% ⑦ 32% ⑧ 42%

* 研修成果の共有状況

〔設問〕 研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 21%

推移) ① 19% ② 25% ③ 23% ④ 30% ⑤ 22% ⑥ 14% ⑦ 18% ⑧ 20%

今後の改善方策(Action)

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。長期休業中の教員研修の回数を増やす必要がある。

※ 調査結果の%表示については、すべて小数点以下を四捨五入した数値である。

② 保護者自己評価

1 調査の目的

- ① 学校に対しての意見・要望、満足度を把握する。
- ② 保護者・教員間の連携を強化し、生徒の学校生活に活かす。

2 実施方法

平成30年2月14日に担任より、各家庭に配布。2月23日を期日として回収終了。

調査は無記名。回収は 381 件。

各項目を以下の4段階にて評価。A Bを肯定的評価 C Dを否定的評価とする。

- A よくあてはまる B ややあてはまる
C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない

※ 評価できない項目については空欄での提出を可としている。

3 結果報告

① アンケート結果

別表にて通知させていただきます。

② [ご意見・ご要望]

〈 学校生活全般について 〉

- ・後期最終のテストも返却して欲しい。
- ・校外学習時に現地集合を辞めていただきたい。バスくらい出せないのか。
- ・入学前に知人から精華高校は「いじめ」に対して親身になって取り組んでくれると聞いていた。自分の子どもも入学以前に少し「いじめ」にあった経験があったが、入学して本当に熱心に指導してもらっている。親しみやすい雰囲気があり精華高校に通うことが出来て良かったと思っている。これからもよろしくお願ひしたい。
- ・学校行事予定をもっと細かくわかりやすくして欲しい。ホームページにもコース別でスケジュールを記載して欲しい。
- ・多感な時期であり、大切な高校生の3年間、心の苦しみや悩み、家族との関係で中学校までとは違う状態の中で、学校という自分だけの空間があること、そこへ行けば心を通わせられる友人がいることでどうにかバランスを保っているようすである。先生方にはたくさんお生徒を抱えながら、何度も時間を割いて話を聞き、励ましていただき感謝している。半年前くらいから、いろいろ話しをするようになり、本来の姿になって来たように思う。高校生らしい、高校生にしかできない楽しみを感じているようで、感謝している。また辛い心があるのに、努力している我が子にも感謝したい。
- ・学校からの連絡を学年ごとに携帯電話に一斉送信して欲しい。
- ・入学時の話しの通り、何かあれば電話連絡をいただけるのでありがたい。金銭面でも授業料を一括で支払う学校が多いなか、融通を利かせてくれるのは助かる。「良心的な私立校」だと思っている。
- ・学校生活を悔いのないように過ごしてもらいたい。クラブ活動にも真剣に取り組んでもらいたい。
- ・こちらに入学して、初めて勉強に興味を持ったように思う。先生方には感謝している。
- ・中学校と比べて、充実した学校生活が送れている。
- ・いつも熱心に指導していただき感謝している。当初思っていたよりも満足している。

- ・入学させて良かった。担任、生徒指導の先生の話に共感できる場所が多々ある。子どもの姿を見ていて、先生方や友達のなかで成長していると感じている。
- ・中学校までは上手に人間関係が構築できなかったが、入学後は毎日楽しそうに登校している。親としても安心している。
- ・先生の生徒とのコミュニケーションの取り方に驚いている。口が悪いし、態度も悪い。良い先生は子どもとしっかり向き合うべきではないか。私学にいたが、がっかりすることが多い。子どもが傷つくようなことは辞めていただきたい。安全に通える学校づくりを目指して欲しい。細かいことにも目が届く学校生活を送らせて欲しい。
- ・今まで勉強の話などしなかったが、自分から成績の話をしたり、進路について話しをしてくれるようになってきた。先生方の指導に感謝している。校長もたくさんの生徒の一人一人を見ていただいていると思う。精華高校に通わせていただき良かったと感じている。
- ・学業、生活指導などが大変ななか、ちょっとしたことにも相談にのっていただき助かっている。子どもから聞く先生が話された話の内容を聞いて感動した。大変な毎日だろうが頑張ってもらいたい。
- ・1年生の朝の小テストの内容が低いレベルで驚いた。これで大丈夫かと不安になる。その他いろいろあるが、今後何かあれば直接話しをしにいきたい。
- ・懇談で担任が子どもに対して、おとなしく真面目なことに「それでいいのか、おとなしすぎて大丈夫か、いじめられていないか」と聞かれた。真面目でおとなしいことが間違っているのですか。

〈 授業について 〉

- ・授業はたまに騒がしすぎる時があるようなので、皆が集中できる環境になればよいと思う。
- ・授業が全くわからない先生について何とかして欲しい。理解できない授業をやっているのも意味がないと思う。
- ・授業において暴言があったと聞いている。子どもを指導する立場の人間がそのようなことがあって良いのかと思う。家庭で気を付けていても、学校で人を傷つけるような言葉を使われると、家庭の指導も意味がなくなる。
- ・生徒が授業の内容を理解していないにも関わらず、ただ板書して授業を進行する先生がいると聞いている。生徒が理解できるような授業を願う。
- ・勉強だけでなく、生徒が興味を持つ話題などで楽しく和ませてくれる先生もいて子どもも喜んでいる。
- ・中学からの基礎力の学び直しをしていただき助かっている。
- ・数学の授業がとても丁寧で、わかりやすいと言っている。しかし年配の先生の授業では、何を言っているかがわからず、授業が楽しくないようである。
- ・一部の生徒の私語のため、先生の声が聞こえないと言っている。先生もほとんど注意もなしで淡々と授業を進めるため、内容が理解できていない。

〈 進路指導・生徒指導について 〉

- ・精華高校の生徒は、服装の乱れが少なく、学生らしい清潔な印象がある。他校の生徒で驚くようなスカート丈や髪型をよく見掛けるが、先生方の指導のお陰であるように思う。この状態をずっとキープしてほしい。
- ・服装、頭髪等のマナー指導が少し厳しすぎる。

- ・校則が厳しすぎる。髪型、髪色等何が問題なのかわからない。天然の髪質を本人が気にしており、毎回髪を切る度に心配しながら登校している。髪を染めようが、どのようにカットしようが、それぞれの個性として見て欲しい。私立であっても考えが古すぎる。
- ・携帯電話が禁止のはずなのに、ほぼ全員が持ち込んでいる。生徒同士の些細な口げんかが「いじめ」の最初なのに、先生が入って話し合いをしていない。
- ・友達と楽しそうに過ごしているようで安心しているが、学力と進路が心配である。多くの情報の他に、最終的に選んでいく仕事について、実際に多種の職業に就かれている人々の話を聞く機会があれば、進路決定がしやすいと思う。家庭では難しいので学校にお願いしたい。
- ・自転車通学生について、防寒用品に関する制限が厳しすぎる。デザインに走る生徒の対応であれば、学校指定品を用意するべきである。不平で申し訳ないが、また指定靴も小さすぎる。サブバックがないとすべてを持つことが出来ない。気にしすぎかもしれないが、指導室に呼ばれることがいやで指定靴に教材を詰め込み、ジッパーも閉めずに登校している。
- ・子どもは厳しいと言うが、規則正しい生活になるように先生方は良く努力されている。問題があってもすぐに対応していただいている。クラブ活動も活発で保護者としては助かっている。担任にも恵まれた。
- ・他校では、携帯電話に宿題が送信されたり、LINEが利用されたりしている。複雑な事情もあり、対策が大変だとは思いますが、通学中はよいのではないか。また困るのは、ルールを守っている生徒の前で説教が始まること。当事者の前であれば良い。正しい生徒には簡単な忠告だけで良い。現実には難しく、複雑だとは思いますがお願いしたい。
- ・冬の寒い時期に、コートを着られずに登校するのが気になる。
- ・進路に迷っているようなので、先生方に積極的に関わっていただきたい。
- ・担任の先生が義務的な対応をしておられるように見えるので、もう少し生徒や保護者の気持ちを考えた発言をしてもらいたい。
- ・兄弟が入学するのでよろしくお願いしたい。
- ・親の知らない遅刻や欠席、早退について連絡をして欲しい。家庭で指摘するためにも連絡が必要である。親が出勤した後で登校するため、確認できない。家庭での声掛けがまず第一だと思う。担任と親の連携があつての指導であるべき。
- ・服装、頭髪などのマナー指導を厳しくしていただき、保護者としては助かっている。
- ・公立高校の先生より私立高校の先生の方が熱心に指導されている。
- ・教員によって、携帯電話指導や化粧指導などの指導の際、ルールが甘かったりきつかったりするのをおかしいのではないか。
- ・冬のウインドブレーカーを必要と思い購入したが、着用する機会が少なく登下校が寒そうである。
- ・肌着の色にまで制限があるのはどうかと思う。黒、グレーなどは問題ないと思う。
- ・学校内の「いじめ」対策をしっかりとっていただきたい。徹底調査、加害者の処分、断罪をするべきである。表向きには、退学などと書いてあるが、実際行われていない。いじめる側はやり放題である。被害を受ける方が学校を辞めることになる。学校は気付いていない。加害者は集団で、隠したり、何もなかったことにするのは簡単である。周囲は怖がって何も言えない。こどもは不登校になったり、精神的に参ってくるばかりである。対策をとって欲しい。このような意見を無視しないでいただきたい。
- ・楽しく通っているようなので、心配はしていないが、子どもの進路について、もう少し具体的に指導を進めて欲しい。
- ・携帯電話は、マナーやルールを決めて、持たせる方向で検討して欲しい。

〈 学校施設、環境について 〉

- ・ 食堂が狭い。拡大を願う。場所も遠く、急いでいっても席がないこともある。出来るだけあたたかい食事をさせてあげたい。おいしいと思えるような改善を願う。
- ・ グラウンドの水はけを良くしてあげて欲しい。
- ・ 校内の階段に手すりを付けて欲しい。
- ・ 校舎内の床が汚れている。
- ・ 食堂は売り切れが多く、食べたい物が食べられない。もう少し量を増やすなど、買いやすくして欲しい。
- ・ 私立の割には、校内が汚く思える。埃などが目立つ。
- ・ 学校内の教室、廊下、特にトイレが汚すぎる。そのせいでトイレに行きにくいと言っている。入学説明会ではきれいに改善すると聞いていたが、疑問を感じる。

〈 クラブ活動について 〉

- ・ 顧問の暴言ではないかと思うことがあった。顧問の機嫌で指導が変わるとも聞いている。
- ・ 熱心に取り組むことは良いが、テスト期間は配慮が必要ではないか。アンケートに記入しても、それが改善されているかわからない。返答は難しいだろうが、前向きな検討を願う。
- ・ テストの日も練習があるので驚いた。平日も一日くらい休みがあっても良いのではないか。帰りも遅く、時々心配になる。

〈 その他 〉

- ・ 事務室の対応がそっけない。たくさんの問い合わせがあるとは思いますが、もう少し心ある対応を願う。
- ・ 事務員の電話の声が小さくて何を言っているのかわからない。
- ・ 下校時のスクールバスの運行本数を増やして欲しい。バスの運転が不安である。(光明池)
- ・ ホームページをよく見ているが、クラブ活動のようすがよくわかって楽しい。診断書等のダウンロードも出来るようにして欲しい。
- ・ シラバスのパスワードがわからない。アンケートに答えるだけの学校の内容がわからない。
- ・ 電話で連絡する際、返事が返ってくるばかりで復唱がないので、きちんと伝わっているのか不安になる。もう少し対応を考えてもらいたい。

【 ご意見ご要望に対する校長所見 】

たくさんの貴重なご意見、ありがとうございます。

高校生活全般に関する項目では、全体的に高い評価を頂きました。特に最後の「精華高校に入学させてよかった」と、多くの保護者の方々に評価して頂いていますことは、我々教職員にとりまして大変励みになります。ありがとうございます。ただ、授業について一部わかりにくい授業や、うるさい授業があるとのこと指摘は真摯に受け止め、教員の意識改革を始め、改善を図って参ります。また、一部教員の暴言につきましてはお詫び申し上げます。今後、そのようなことがないように指導を強めて参ります。

生徒指導について

本校の生徒指導の方針に、多数の保護者の方々の理解・共感を頂いていますこと、感謝申し上げます。「いじめ」につきましては、教員一同「いじめは絶対に許さない」という方針の下にしっかりと対応して参ります。年度末には全校生徒対象に「いじめに関するアンケート」を実施致しました。何か気になることがございましたら、遠慮なく学校の方にご連絡下さい。携

携帯電話につきましては、本校では持ち込み禁止の方針で指導していますが、時代状況も考え「持ち込み可」の方向で検討しております。情報リテラシーの向上と共に、マナー教育の徹底をめざします。

学習指導について

多くの保護者の方に、年間指導計画（シラバス）を見て頂いております。ありがとうございます。ただ、「わかりやすく充実した授業」については、課題が多いこと重く受け止めさせていただきます。

進路指導について

進路指導につきましては、進路に関する情報提供の不足がデータから読み取れますので、しつかりとした情報発信を心がけます。本校は、生徒の多様な進路に答えられるように、きめ細かい進路指導体制を取っております。よろしくご理解下さい。

学校環境・設備について

校舎の耐震につきましては、建設会社2社に耐震調査を依頼し、本校は新耐震基準をクリアしていることを確認致しております。その際、校舎前面のタイルについて、地震の際はがれ落ちる危険を指摘されましたので、外壁工事の際に対策を講じています。施設設備の充実面については、一昨年の夏に校舎内壁の全面改修を行いました。また、西館3・4階および本館1階の生徒トイレの改修（洋式化）も済んでおります。この夏は、引き続き外壁工事および西館2階の生徒トイレの改修（洋式化）工事を予定しています。また、ICT教室の設置を、この夏に計画しています。生徒の校内美化に対する意識は以前より高まりましたが、更に実践的態度の育成に努めて参ります。食堂につきましては、抜本的な改革に向けて検討を重ねて参ります。また、学校からの情報発信につきましては、ホームページの充実と共に一斉メールの構築を急ぎます。

③ アンケート結果の共有

多数ご意見をいただきまして誠にありがとうございます。今後の教育活動に役立てて参ります。

③ 学校協議会報告 [平成29年9月30日実施]

出席者 堺市福田校区自治連合会長
堺市西陶器校区自治連合会長
堺市東陶器校区自治連合会長
精華高等学校保護者会長
精華高等学校同窓会長
精華高等学校校長
精華高等学校教頭（2名）
精華高等学校事務長
精華高等学校生徒指導部長
精華高等学校進路指導部長
精華高等学校ミドルリーダー研修者（2名）

協議会内容

◎ 校長より

教師によって力量が違うが、しっかり授業をしていただくようお願いしている。

◎ 各委員から

- ・1年生から3年生まで見学したのは初めてだが、学年を追うごとに成長を遂げ、3年生がしっかりしているのを感じ、安心した。
- ・寝てる方が迷惑にならないように考えている先生もいるように思う。信頼関係や思い入れの問題。
- ・備品、教室の汚れは生徒の汚れだと感じる。そういう意味では2年4組が備品の汚れなどなく良かった。（整理整頓の必要性・美化委員の活躍）
- ・女性の先生の話は聞いているのかという疑問はあったが、概ねよかった。頑張っていると思った。
やはり教室等がきれいな方が落ち着くと思う。
- ・机が小さいように思うが、また汚れているようにも見える。
- ・今どきの高校生はよくわからないが、私学の特色が出ていると思った。まじめに授業を受けているしきれいである。校舎が荒れると学校も荒れている。公立高校は汚れていた。
- ・校舎内外の整備によって生徒も変わる。
- ・生徒が寝ている様子が気になる。注意をしてはいけないのだろうか。生徒による対教師暴力事件が起こった福岡の高校のようなことにならないように願っている。

◎ 指導について

- ・寝てる生徒を無視して授業を進めることは楽であるが、きちんと起こしている。研修等を行い、ここ数年授業に熱心に取り組んでいる。（教務部長）
- ・“自分で自分の進路を見つける”という点は今も変わらないが率が低くなっている。チャレンジ精神が少なくなってきた易きに流れる生徒が増えている。本人も保護者も早く決めたい傾向。安全志向である。もう少し頑張ればもっと伸びると思う生徒が多い。（進路指導部長）
- ・無気力な生徒が増えている。しつけができていない生徒が多いので1から教えていく細やかな指導が必要。また、個で時間を過ごす生徒が多く、人との交流・集団行動が苦手な生徒が増えている。（生徒指導部長）

◎ 学校への要望

- ・精華のレベルも上がってきていると聞いている。現在、地域では小学校が移転新築されており、通学経路が異なる予定だが、高校生の自転車通学と小中学生の登校が重なるので事故等が心配。自転車通学のマナーを守ってほしい。
- ・仲間作りができればいじめもなくなるのではないか。
- ・部活について吹奏楽部は活躍しているが、運動部も頑張ってもらいたい。
- ・図書の実充に力を入れてはどうか。蔵書が少ないように思う。
- ・精華はバランスのいい学校なので、文武両道を目指して頑張ってもらいたい。

◎ その他

- ・前日の福岡県の高等学校で発生した対教師暴力事件で高校生が逮捕されたことが話題になった。
- ・先生の気質も変化している。以前は挨拶してくれない先生もいたが、良く改善されている。

◎ 校長より

- ・授業の実充に力を入れたい。
- ・各コース特色を持たせる。
- ・私学としてもっと施設を充実させたい（ICT 教室）
- ・美化の強化

④ 総合評価（校長評価）

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華という体制は堅持したい。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。保護者からの要望の強かった進路の情報発信はしっかり行う。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

建学の精神（教育目標）が、学校関係者に浸透していない。また、生徒の愛校心も低い状況にあると、教職員は認識している。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行いたい。

情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、国際交流室を中心に引き続き取り組む。教員研修、教員の資質向上についても更に充実させなければならない。

本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校を目指す。また、時代の要請に応えるため、教育改革会議を立ち上げ、時代が求める新しい教育に取り組んでいく。

※ これらの結果を更にまとめて、本校ホームページに掲載するとともに、大阪府教育庁私学課へ報告致します。